

明治大学マンドリン倶楽部 演奏会 in NAKA



2020年 **3月10日 (火)**

- 開場 / 午前10時10分
- 開演 / 午前10時40分
- 会場 / 相生体育館
- 入場無料
- 駐車場 / 相生中学校グラウンド 駐車台数に限りあります。

明治大学マンドリン倶楽部の生い立ち



MEIJI UNIVERSITY MUMC
明治大学 マンドリン倶楽部
MEIJI UNIVERSITY MANDOLIN CLUB

明治大学マンドリン倶楽部は大正12年の春に創設され、翌年5月、上野の自治会館で第1回演奏会が開催されました。このときのセカンドマンドリンのしんがりは、予科1年生の古賀政男先生でした。

その後、古賀先生が主将になられてからは、明大マンドリン倶楽部独自のカラーが創造され、以来「何でも弾いてやろう」というフロンティア精神が底流となりました。また、定期演奏会において古賀先生作曲の「日本橋から」「影を慕ひて」等を発表、当時の暗い社会に大反響を呼びました。そして一躍明治大学マンドリン倶楽部の名は全国的なものとなり、それ以来、古賀メロディーはもとより「支那の夜」を作曲した竹岡信幸先生、「勘太郎月夜唄」の清水保雄先生、「女心の唄」の吉田矢健治先生、「愛のふれあい」の小町昭先生、その他多くの有名な作曲家、編曲家、演奏家を世に送り出しております。

指揮者



音楽監督・常任指揮者
甲斐靖文

